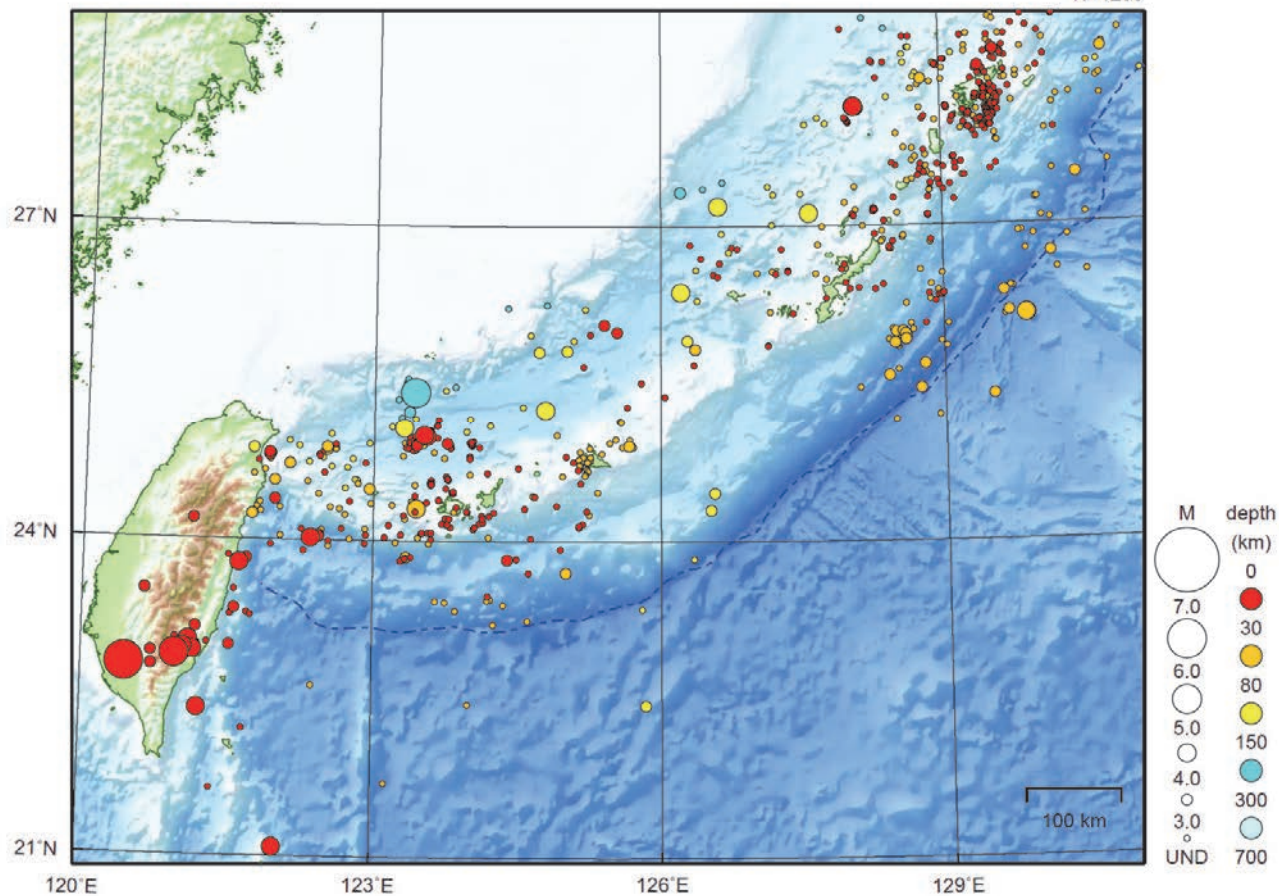


沖縄地方

2016/02/01 00:00 ~ 2016/02/29 24:00

N=1258



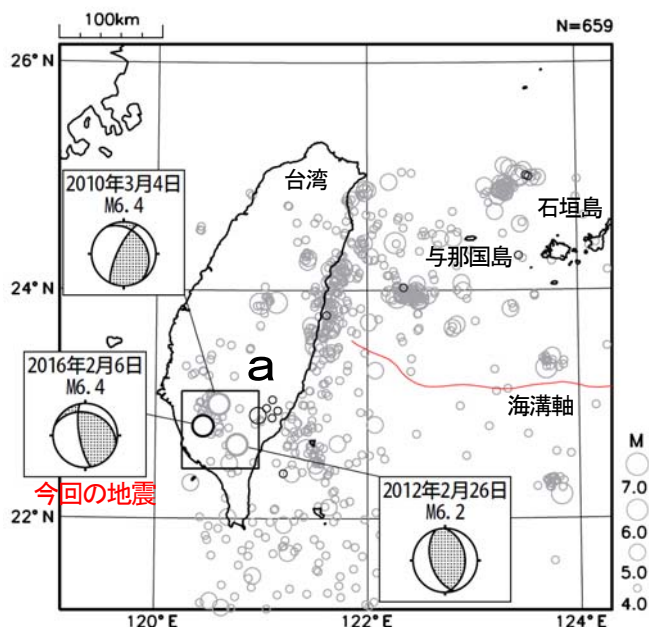
地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

特に目立った地震活動はなかった。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

2月6日 台湾付近の地震

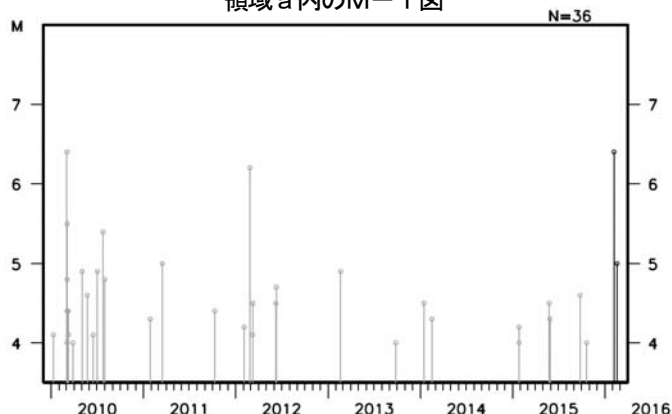
震央分布図
(2010年1月1日～2016年2月29日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)
2016年2月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



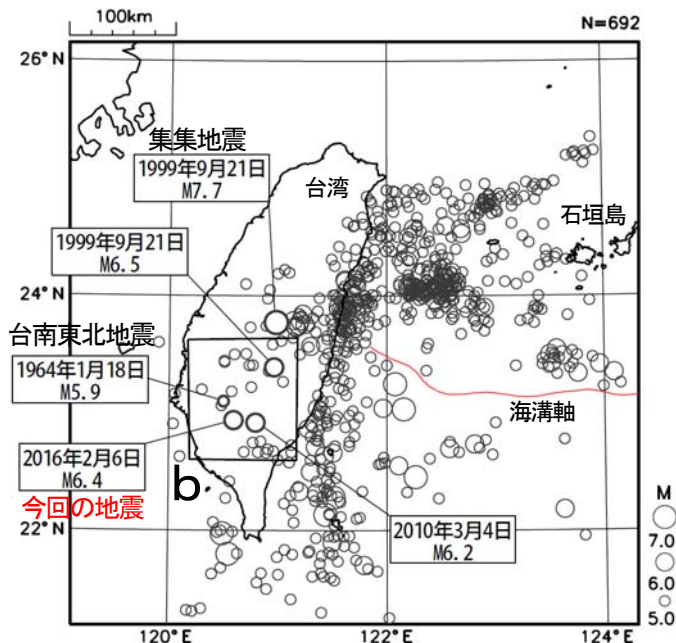
2016年2月6日04時57分に台湾付近（台湾南部）でM6.4の地震が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東北東 - 西南西方向に圧力軸を持つ型である。この地震により、現地では死者116人（内、16階建てビルの倒壊による死者114人）等の被害が生じた（被害は2月14日現在：内政部消防署（台湾）による）。

2010年1月以降の活動を見ると、この地震の震央付近（領域a）では、2010年3月4日にM6.4の地震が発生するなど、M6.0以上の地震が3回発生している。

領域a内のM-T図



震央分布図
(1964年1月1日～2016年2月29日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
震源要素は米国地質調査所（USGS）による。このため、
上の震央分布図（気象庁による震源要素）と一致しないことがある。



1964年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1964年1月18日にM5.9の地震（台南東北地震）が発生し、死者106人等の被害が生じた。また、今回の地震から北北東に約100km離れた場所では、1999年9月21日にM7.7の地震（集集地震）が発生し、死者2413人等の被害が生じた（被害は宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による）。

領域b内のM-T図

